

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和2年10月15日号
鳥栖市立麓小学校
校長 西川 哲也
Tel. 0942-83-2013
<https://www.education.saga.jp/hp/fumoto-e/>



ホームページ

お釈迦様の指

子供が困っていると、つい、すぐに手助けをしたくなりませんか。そこを我慢して自分たちでやらせること、そして自分一人でやったのだと思わせることが、本当に子供のためになるのかもしれませんが。こんなお話があります。



お釈迦様が、天から人間の世界を見ていると、一人の男が荷車を引いて歩いているのが見えた。汗をふきふき荷車を引いているうちにぬかるみにはまってしまった。さあ、困った。男は一生懸命、引いたり押したりするが、荷車はびくともしない。

男は仕方なく道の横に座って、誰か人が通りかかるのを待つことにした。ところが、運悪くいくら待ってもだれ一人通らない。

早く行かないと日が暮れてしまう。男はあせった。他人に助けてもらおうと思ってもだめだ、自分の力で何とかしなくちゃと男は思った。

お釈迦様は、男が人に頼らず自分の力で何とかぬかるみから荷車を引き出そうと決心したのを知ると見えない指で荷車をちょっと押してあげた。

すると、荷車は何事もなかったように、カラカラと音をたてて動き出した。

男は、お釈迦様が押してくれたなど全く気が付かない。自分の力で引き出したと思っている。

もし、お釈迦様が「私が押してあげたのですよ。」と言えば、男はお礼を言うだろう。しかし、男は次にこういう困ったことが起きたとき、「お釈迦様が助けてくれるのではないか」と他人に頼る心が起こるだろう。

だからこそ、お釈迦様は、だまって見えない指で押してあげたのである。

ウイルスの次にやってくるもの(ご紹介)

県内では、自他のいのちと健康を大切にする精神を育成することを目的として、多くの小中学校が青少年赤十字に加盟しています。麓小学校もその一つですが、先日、日本赤十字社佐賀県支部が行った研修会に参加させていただきました。その際、子供たちの「不安」を軽減し、「差別」を生まない指導に生かせる資料として、動画教材が紹介されました。短い動画ですが、医療従事者や感染者への偏見や差別が問題となっている今、「人と人が傷つけあう状況はウイルスよりも恐ろしい」ということや「わたしたちにできることは何か」ということを、分かりやすく伝えてくれています。もしよろしければ、お家でお子様とお話をされる際の材料にしてみられてはいかがでしょうか。

※ 動画共有サイト「You Tube」からご覧ください。⇒



ミシンボランティア

10/7(水)・8(木)、5年生家庭科のエプロンづくりの授業に、ミシンボランティアの皆さんが来てくださいました。

5年生のこの学習は、初めてミシンを扱う子が多いので、教師だけで一人一人の子に効率的に指導することが難しいのです(お釈迦様の指が一本では足りません)が、毎年ボランティアの皆さんにご協力いただくことで、きめ細かな指導が実現できています。おかげで今年の5年生もたいへん熱心に、そして楽しくエプロンづくりに取り組み、満足感を得ることができたようです。

お忙しい中お越しいただいたミシンボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。



ゴーヤを収穫しました(4年生)



10/9(金)には、学校のすぐ近くでビニールハウス栽培をされてある古澤義博さんと体験活動コーディネーターの檜崎タキコ先生のご厚意により4年生がたくさんゴーヤを収穫させていただきました。

手が届かない所に実ったゴーヤもたくさんありましたが大人の人に柄の長い鎌で茎を切ってもらったり、自分で踏み台に乗ったりしながら、みんな夢中になって収穫をしていました。

学校内外でいろんな体験活動ができる麓小学校の環境は本当に素晴らしいなと改めて感じました。

入賞おめでとう

【わたしたちの夢のトラック 絵画コンクール】

最優秀 1年 松原 笑加 さん
作品名「わたしの夢のケーキ屋さんトラック」

※ ちなみに、松原さんの作品は佐賀県トラック協会のトラックのボディに大きく描かれ、交通安全啓発のために全国各地をまわるそうです。

【人と人とを結ぶ思いやり標語】

鳥栖市長賞 6年 梶原 凜香 さん
作品「やさしさと 笑顔をつたすと 思いやり」